

IWAGO·MITSUJAKI

岩合光昭写真展



アフリカ

～沈まぬ大陸～

2006.9/9 SAT ~ 11/5 SUN

GALLERY
TALK

岩合光昭氏ギャラリートーク
10月1日(日) AM11:00～・PM2:00～
ミュゼふくおかカメラ館



入館料●一般600円 大学生・高校生300円 中学生・小学生100円

※20名以上の団体は2割引 ※土・日・祝日は高校生以下無料

開館時間●9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日●月曜日(祝日除く)、9/19、9/26、10/10

主催/ミュゼふくおかカメラ館 共催/北日本新聞社、北日本放送、北陸放送 協賛/WWFジャパン
協力/岩合写真事務所、(株)オリンパス、フォトグラファーズ・ラボトリー
企画協力/B.J.プランニング

ミュゼ ふくおか カメラ館

FUKUOKA CAMERA MUSEUM

〒810-8117 福岡県福岡市東区西戸崎1-1-1

TEL.092-934-0101 FAX.092-934-0101

http://www.camuseum.com

アフリカ

～沈まぬ大陸～

[岩合光昭写真展]



地球上で最も多くの野生が残る大陸・アフリカ

アフリカは、地球上もっとも多くの野生が残る大陸だ。そこには、砂漠から熱帯雨林、高山まで、比類のないダイナミックな自然がある。まるで海のように広がる草原。ゾウやキリンが小さく見え、ライオンが悠然と歩き回る。それはアフリカではあたりまえの日常だ。しかしその風景の持つ強烈なインパクトは、まさしく「大自然」として岩合氏の中に刻み込まれたに違いない。

「平原の真ん中に立つと、三六〇度、ただただ地平線がのび、空が広がっている。この平原の気が遠くなるような雄大さを、いったいどう表現したらいいのだろうか…」(岩合光昭談「生きもののおきて」)

世界的なネイチャーフォトグラファー岩合光昭氏が、撮影のライフワークとしているアフリカ。ライオンやチーター、シマウマ、ゾウ、キリンなど、地域特有の様々な野生動物達の生態や、アフリカ独特の気候が生み出す植物の豊かな彩りを紹介します。また、これまで存在自体が伝説とされていたホワイティオンをとらえた作品なども織り交ぜ、そこに棲む野生動物たちが繰り広げる生命の輝きと、スケールの大きなアフリカ大陸の大自然を約100点の大型作品で一堂に展示します。



開館時間 ■ 9:00～17:00
(入館は16:30まで)
休 日 ■ 月曜日(祝日除く)、
9/19、9/26、10/10
入 館 料 ■ 一般600円
大学生・高校生300円
中学生・小学生100円
※20名以上の団体料は2割引
※土・日・祝日は高校生以下無料

IWAGO MITSUAKI



岩合光昭プロフィール

1950年東京生まれ。大学卒業後フリーの写真家となり、地球上のあらゆる地域をフィールドに野生動物や大自然、さらに身近な犬や猫も撮影し続けている。またホッキョクグマや野生のジャイアントパンダなど多くのハイビジョンテレビ番組の撮影も手がけている。写真集に、全世界でベストセラーとなった「おきて」をはじめ「ホッキョクグマ」「岩合光昭の大自然100」「旅ゆけばほ望」など多数ある。

- ホームページサイト
「Digital Iwago」 www.digitaliwago.com
- 携帯コンテンツ/フォメーション
<http://iwago.skk-mobile.com/info/>



ミュージアム ぶくおか カメラ館
MUSEUM TOKUOKA CAMERA MUSEUM

〒203-0117 東京都小平市富原町4-5-53
TEL 0766-64-6661 FAX 0766-64-0561
<http://www.iwanaka.com>